

体育大会を振り返って②

私はこの体育大会はとっても大変でした。練習で踊りを見たとき「は？」ってなりました。去年はマスゲームで「ムカデ競争」だったから、レベルが全く違いました。私はダンス経験がほぼないので、最初のほうはめっちゃ苦戦しました。でも、だんだん踊ることが楽しくなってきた、体育の時間が楽しくなっていました。でも、2曲目はもっと難しくてびっくりしました。友達と確認しあって振りをしっかりおぼえることが出来ました。学年練習のときに全員で合わせて、とっても楽しかったです。一番心配だったのはリレーでした。練習でも予行でも1度も走らなかつたからです。バトンパスが上手にできるのか心配でした。本番ではバトンパスが上手いかなかつた時も結構ありました。でも、お互い励まし合って楽しく笑顔で体育大会を終えることが出来ました。1年生はかわいらしく、元気に踊っていて、3年生は最高学年らしく、カッコイイ踊りで体育大会の最後を飾ってくれました。3年生の動きと私達2年生の動きの速さは全然違いました。私達も来年は二見中学校の最高学年になるので今年の3年生のような踊りをできるようにになりたいです。そして、体育大会でた反省を普段の学校生活でも生かしたいです。(4組 女子)



マスゲームでは、最初に振りを見た時「これはムリだ」って心の中で思っていました。練習をはじめても、全くついていけず、全然分かりませんでした。でも、練習を重ねていくと、だいたいの流れとかをつかめてきて、すごいダンスって楽しいんだなって実感できるようになって「全部しっかり覚えたい」って思えるようになりました。そこから、ダンスリーダーの子などに、振りつけを覚えてもらったり、体育の授業でも、一生懸命取り組み、本番に臨みました。本番では、少し間違えてしまった部分もあったけど、予行よりも何倍も楽しく、大きく振りを踊ることが出来ました!!最初は絶対ムリって思ってたけど、みんなで一生懸命がんばることでいいものになるんだって分かりました。リレーでは、私は思うように走れず、悔しい思いをしました。でも、最下位だったのに、アンカーが一人抜かしてくれて、本当にうれしかったし、感謝したいです。私は一人も抜かすことができなかつたけど一生懸命走って、バトンをつなぐことができたので良かったです。混合リレーなどの他のリレーでも、みんなが協力して、バトンをつなぎ、とても団結力が深まったと思います。1年生の演技をみて、自分も4年生の時にソーラン節をしたのでわかるんですけど、あのダンスはすごく難しく、疲れるダンスなのに1年生は動きが統一されていて、みていてすごい綺麗だなんて思いました!3年生は3年生1人1人の想いがしっかり伝わってきて、感動しました。男子が前に出てくる時とかも、横の人と揃えてみんなで動きを統一させていて、自分たちも来年今の3年生みたいなダンスをしたいなって思いました。この体育大会を生かして今後の学校生活や文化祭も頑張りたいです。(4組 女子)

体育大会をやることになって今年は「マスゲームをやります」と聞いた時、今年は踊れるんだ!と、とても楽しみでした。そしてダンス委員の人が毎日集まってダンスを考えてくれてどんなのになるのか楽しみで、体育の授業で初めて踊りをする事になってダンスを見てみたら、自分の想像以上の難しいダンスで体育大会までに完成させられるのかな、と初めはずっと思っていました。一曲目の“つっぱり”の1章は踊っていたので、これならいける!と思っていたけど、2章になるとダンスが少し難しくなかなか覚えることができませんでした。やっと1曲踊れた!と思って体育大会までに間に合うなと思っていたら、うわさで2曲目があるかもしれないと言われていて、私は2曲なんかやらんやろと友達と話していた、いつも通り“つっぱり”の練習をすると思っていたら「今日から2曲目をやります。」といわれて「え?!」って一人でなつてダンスをみたら1曲目より難しそうで、でもかっこよくて踊りたいなと思いました。ダンスを習っていなかつたらできそうにない振り付けとかもあって、友達とずっと「どうやるの?」といいあつたりしていました。私は足をくねくねする動きの所がなかなかできなくて困っていたら、ダンス委員の人が「わかる?」と優しく話しかけてくれました。1から優しく教えてくれたので、少しできるようになりました。40人近くを一回で教えることはとても大変で、その中でもわからない人に1対1で教えられるのがすごいなと思いました。毎日部活の時間を短くしてでもダンスを考えてくれたダンス委員の人には感謝しかありません。毎日体育の授業が入っていて、今日はダンスの練習をしたくないと思うこともあったけど、体育大会の本番で2年生のダンスが終わった時、毎日、練習があつてよかったなと思いました。毎日の練習がなかつたら、自分は2曲目のダンスなんか全然踊れてなかつたなと、踊り終わった時に思いました。(1組 女子)



今年はコロナの影響で、リレーとマスゲームの午前中だけの体育大会となりました。リレーは、一度も練習しないまま走る事になりました。私は混合リレーを走って、特別抜かしたなどがなかつたけど、他のスウェーデンなどの人達の応援をしっかりとすることが出来ました。今年は、マスク着用で大声を出すことはできなかったけど、拍手で応援することが出来ました。マスゲームでは、私はダンスをやつたことがなく“キレッキレ”で踊ることはできません。でも、学年で合わせないといけないから、まず、笑顔で大きく動くと、努力することを意識しました。特に、努力では一人倍練習しないと覚えることはできないと思ったから、家で練習をしたり、リーダーに個別で休み時間に教えてもらうようにしました。本番では、とりあえず笑顔で踊りきることができて、楽しかったです。委員の仕事では、規律と放送を掛け持ちしているので、仕事が連続になったりするのがしんどい時もありました。でも、他の子と協力したり、アドバイスを言い合つたりすると早く良いようになりました。なので、今回学んだのは“協力”と“努力”です。協力は相手やみんなでするといい。努力はその協力をするために、自分一人でもできることをしてからすると、もっとよくなる。これは、次の文化祭でも協力ではアドバイス、努力では早く歌詞を覚えるなどにつながると思うので、これからの生活でも意識していきたいです!(1組 女子)